



日本大学

工科校友会

日本大学工科校友会

編集委員

委員長	筒井助幸
委員幹事	亀井幸次郎
委員	伊藤真治
"	大内順郎
"	穴沢一郎
"	宮川育郎
"	木下茂徳

1958

VOL. 4 No. 12

日本大学工科校友会誌

目次

会長挨拶	柴田 衛	3
祝 辞	呉 文 炳	4
工学部より理工学部への歩み	横地伊三郎	5
新制大学院の将来	市川良正	7
日本電波工業株式会社訪問記		8
秋葉堰堤工事誌		17
辞任の挨拶	呉 文 炳	20
ガソリン機関とディーゼル機関との比較	斎藤雅宣	21
伸びゆく学生		22
石	大久保保夫	23
建設への若人	深 松 勇	24
工科校友会総会議事録		25
理工学部長祝辞	横地伊三郎	34
地方支部だより		35
昭和33年度大学予算		45
国際会議其の他に出席の教授消息		46

執筆者の横顔

柴田 衛 (新会長) の横顔

柴田氏は駿河台の草分け、大正12年日本大学高等工学校機械科第1回卒業、さらに学業を進めて大正15年専攻部機械科第1回卒業、直ちに助手として後輩指導の任につき(以来今日まで一貫)現在では講師として鉄道車両、生産管理の講義に深い学識を傾倒されている。

この間現日本大学会頭古田重二良氏、土木の松田、落合、佐多、建築の石原、長井、江崎、機械の鹿田、西の諸氏の共に旧制工学部、専門部工科、日本大学工業学校等の設立に関する事務や設備計画にも携わり、学外に於ては鉄道技手として国電の密着連結機、ドーアエンジン以下十数件に及ぶ特許、実用新案の発明という実績をあげて功績章を授与され、昭和10年には当時としては異例の鉄道技師に任官その間に東京地下鉄の最初の電車の委託設計にも関与している。

戦時中大陸の車両工業の要求が高まり、小糸製作所天津車両工廠設立が決定するに及んで鉄道省を辞して小糸製作所に転じ、上記車両工場建設の最高責任者としてその使命を達成する業績もあげた。まことに幅の広い活動家で、会長としての今後の活躍を期待する。現在小糸電機株式会社常務取締役で58才。

評議員(クラス幹事)

総会の結果会則第9条による評議員が各学校(高工、学部、専工、新制学部、短大、工業専門)別、科別、卒業年度別、1、2部別に卒業クラスより1名づつ選出された。本年度より役員任期は2ケ年となつたので新評議員各位には公私共にご多忙と思いますが「卒業クラス」の各員諸氏

の消息を工科校友会事務局宛にご連

『成瀬先生から 亀井編集幹事宛』のはがき

雨の降る夕方、ウキェンナに着きましたが、その後快晴、国際溶接会議に出席、その役目も何とか果して、オーストリア各地を旅行しました。この邦の農村が、詩であり絵であり、工場その他の訪問の閑をぬすんでは、田舎にゆきました。

さて、ドイツに來たら、妙に建築と縁があつて、フランクフルト市では、橋よりコルビュジェ全作品展覧会に興味を惹かれ、ベルリン市では、この写真にある各国巨匠設計のアパート群に感嘆しました。

1958年7月28日復興のベルリン市にて

8月2日ケルン市にて
成瀬勝武

校友寄贈図書を 持ち寄ろう

工業学園も発展して、土木、建築、機械、電気、工業化学、薬学、工業経営、物理の8科となりました。工学部2部及短大には教養もありますので専門学科と教養学科の両方の図書が必要です。

工科校友会では母校への協力運動の一つとして新築中の図書館(旧日進講堂敷地の現木造建造物を取壊して延1900坪の地下1階地上9階の研究室並に図書室を建設中)に校友蔵本の寄贈運動を始めました。

本運動は校友会の事業として副会長の高見清氏担当で進められて居ります。

新制度の大学に於ては図書室は旧制大学以上に、研究活動、学習活動

の重要な役割を持つて居ります。蔵書冊数の多寡が大学図書館としての価値に大きな影響があります。

上記趣旨に御賛同の上御寄贈を願います。現物又は現金等の郵送は工科校友会事業委員会宛に願います。御寄贈の図書には扉に「寄贈者氏名、学校、科、卒業年」を記入致し記念とします。御寄贈の分には折返し受領書を差上げます。

アンケート

(4) あなたは会誌「桜工」の記事内容について御意見がありますか?

(2) 校友会と全国支部との連繫を密にするには具体的にどのような方策を必要とするか?

(1) (イ) 意見なし。

(ロ) 意見あり。

(2) (イ) 現状では支障なし。

(ロ) 現状を改める必要あり。

以上のアンケートを8月21日で全国支部長、職場支部長、本部各部(総務、財務、事業、名簿)の各委員宛に(75通)往復はがきで出しました。

編集後記

総会記事を詳細に盛込んだ事と、地方及び職場の支部便りが集まつた為本誌も発行がやや遅れ申訳なく思つております。そのため八木氏から頂いた秋葉ダムの工事誌を一部13号に廻らすことになりました。会誌へのご要望は編集委員会にドシドシ注文して下さい。(H)

桜工 第12号

昭和33年8月25日 印刷
昭和33年8月30日 発行

編集人 藤田 實

発行人 高木 政司

東京都北区中十条3の23

印刷所 協永堂印刷KK

電話(91)2124・7090番

東京都千代田区神田駿河台1の8

発行所 日本大学工科校友会

電話東京(29)代表7711-9番

振替口座東京162710番